

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-14-08
事務事業名	日生ごみ処理施設維持管理事業		
	昭和53年度～	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
事業開始年度	昭和53年度～		
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合先 担当課(室)	環境課
中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	職・氏名	衛生係長・森本和成
小項目 施策	ごみ処理	電話	64-1821

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	一般廃棄物の処理を必要とする、日生地域の市民及び事業者。
目的 (何のために)	一般廃棄物の焼却を除く処理業務について、適正かつ効率的に処理する事により、生活環境の保全につなげる。
行政活動 (どのような方法で)	適正かつ効率的に一般廃棄物の処理を行うため、施設を維持管理するとともに監理を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	生活環境の保全を行うとともに施設維持管理費の削減を行う。

事業の実績					
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
ごみ処理量	t	1063.0t	825.0t	769.0t	
可燃ごみ処理量	t	554.7t	411.9t	397.3t	
びん処理量	t	102.1t	59.6t	74.7t	
紙類処理量	t	238.6t	194.9t	163.4t	
不燃物処理量	t	167.6t	158.6t	133.6t	
稼働日数	日	306日	306日	305日	
活動実績	直接事業費	千円	30,266	23,849	25,621
	人件費	千円	3,415	2,330	2,283
	事業費計	千円	33,681	26,179	27,904
財源	国県支出金	千円	0	0	0
	受益者負担	千円	7,359	7,991	8,774
	一般財源	千円	0	0	0
	必要人員	人	0.45	0.30	0.28
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	ごみ処理量	t	1063	825	769
	結果指標量	t	1063	825	769
	対前年比	%	-	77.6%	93.2%
	活動コスト	円	33,681,000	26,179,000	27,904,000
結果指標	結果指標量	人			
対前年比	%				
活動コスト	円				
結果指標	結果指標量	円			
対前年比	%				
活動コスト	円				
結果指標	結果指標量	円			
対前年比	%				
活動コスト	円				

事業の成果			
成果指標名	トン当りのごみ処理コスト	式又は説明	事業費 / 年間ごみ処理量(t)
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	31,685	31,732	36,286
対前年比		100.15%	114.35%
到達目標値	処理委託料の削減	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	ダイオキシン類対策特別措置法の施行によって平成14年12月に焼却炉を閉鎖したものの、一時的に広域で焼却することにより処理を補完している。容器包装リサイクル法に基づき、分別・細分化によるごみの資源化を行っており、ごみ焼却量の減量に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	効率性評価<A~E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	広域で焼却している燃えるごみ以外の燃えないごみをはじめ、持込ごみや資源ごみの前処理を行っているが、処理設備や備品の老朽化などにより作業効率が低下している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		課題認識
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	設備や備品の年次的な整備により作業効率を向上させるとともに、ごみ減量化が進み、ごみ処理量が減少すれば処理コストの軽減が期待できる。	
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
市民参画度			

平成20年度の状況		説明	再資源化率のアップにつながるように市民に適正なごみ処理の啓発を行っている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	36,286円/t	結果指標量
成果指標量			

総合評価		評価区分 <A~E>	B
備前市循環型社会形成推進地域計画に基づき、資源ごみのリサイクルセンターとして整備し、地域ごとに役割分担することによる効率的なごみ処理の実施。粗大ごみの有料化を早期に実施する必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	資源ごみの回収	随時	家庭ごみの排出抑制および資源物のリサイクル
効率性	処理施設の計画的な維持管理	随時	施設の維持管理費のコスト削減
有効性	施設管理の徹底	随時	快適な生活環境の維持